

ホンモノ/体験（上野小）



第5学年『夢に向かって』

何事にもチャレンジ
することが大事です。
失敗しても大丈夫！



相手のことを
しっかりと見て、
投げてみよう。



福井さんの投げ
る球はとて速く
て私の憧れです。



困難を乗り越えたお
話から、失敗してもあきら
めずに頑張る続ける
ことの大切さを知りま
した。

自分は諦めてしまうこと
が多いので、これからは何
事にも前向きに、楽しむ気
持ちをもちながら努力して
いきたいです。

手の動かし方や見る方
向など、とても分かりやす
く教えていただき、投げる
ことが前よりも好きにな
りました。

福井さんに教えても
らった投げ方で投げたら、
今までで一番遠く
まで投げられました。

第3学年「グラブ職人に学ぶ」



これが本物の牛革か…。こ
こからいろいろな革製品に
作り変えられるのだね。

作られている途中
のグローブだね。がっ
ちりと縫われている
から、壊れにくいね。



最後は自分たちで革製品作り



革の表面は、つるつるして
いる。これが「なめし」だね。
触ってみると、表と裏で全然
違うのだね。

台東区には野球関連の企業や工房が多く存在している。そうした中で地域の少年野球チームで野球に取り組む児童も多く、野球は身近に感じられる題材である。そこで、第3学年の社会科において、地域で工房を開いているグラブ職人である小林成謹氏をゲストティーチャーとしてお招きし、グラブ作りの工程や工夫、そこに込める思いについて特別授業をしていただいた。また、第5学年ではキャリア教育の一環として、元プロ野球選手の福井敬治氏をお招きし、夢をもつこと、夢に向かって進むこと、夢を叶えることについての講話をお聞きした。さらに、実際にプロの技も披露していただき、そのすごさを体感することができた。

どちらもホンモノに触れることによって、児童の心に響く特別な時間を過ごすことができた。